

員が選んだ **おすすめの1冊**

④ みんなの「わがまま」入門

富永京子著／左右社
社会運動に否定的な人が社会運動について持つ印象「クレーマー」「こわい」「自己満足」。この本は「わがまま」というツールを使いながら、「ふつう幻想」から解放されて、みんなの「わがまま」が生きやすい社会をつくっていくと示しています。

⑤ 働く女子と罪悪感

「こうあるべき」から離れたら、もっと仕事は楽しくなる
浜田敬子著／集英社
女性が活躍し続けるために、職場の仕組みは変化しています。仕事と家事・育児の両立に苦しみながら頑張る女性たちの「仕事は楽しいと胸を張って次世代に伝えたい」という願いがこもった一冊です。

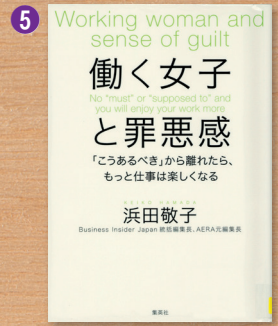
⑥ この世にたやすい仕事はない

津村記久子著／新潮文庫
失業や転職を経験する主人公は、次第に一般には知られていないようなマニアックな仕事に出会っていきます。仕事との出会いから自分を知り大切な場所を探す物語です。

気づきにくい「当たり前」を問い直すエクササイズが役に立つ

ジェンダーの意識との葛藤

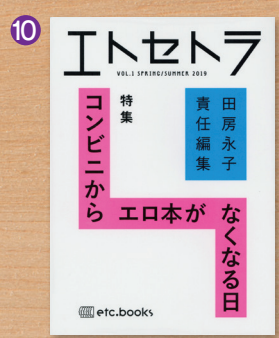
職場も自分の居場所の一つ



戦者たちの実話集

女性たちの声を大切にしたいフェミニズムマガジン創刊号

ココロと身体へ素直に向き合う



えた100人の女の

り、フランチェスカ・カヴァツリひろ訳／河出書房新社
な時代と状況に対する夢を持つ女子に勇気を与えよう。世界各国トが描く、色鮮やかな画にも思わず心が踊り

⑩ エトセトラ

田房永子責任編集／イトセトラブックス
今年8月末、コンビニ4社の店頭から成人向け雑誌が撤去されたことに対する、コンビニ店員、客、経営者、エロ本制作現場の男女60人のリアルな声を掲載。「子どものため」だけではない、今日の日本の在り方を考えさせられます。

⑪ オトナの保健室

セックスと格闘する女たち
朝日新聞「女子組」取材班／集英社
誰もが抱く、性のモヤモヤ。読者の投稿や識者の解説とわかりやすい漫画で、セックスレス・不倫・セクハラ・#MeToo運動など、大人が考えておきたい性について取りあげられています。

☆特集でとりあげた本はアイレックで借りることができます。

ある奴隷少女に起こった出来事

ハリエット・アン・ジェイコブズ著／堀越ゆき訳／大和書房
160年程前に書かれた実話です。現代にも全ての登場人物が存在しているのではないかとと思わせる普遍性のある手記です。

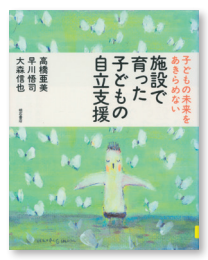


宮島 智子さん
一般社団法人 AAO! ※ 代表理事

※障害児の居場所づくりなどの支援を行う団体

子どもの未来をあきらめない 施設で育った子どもの自立支援

高橋亜美・早川悟司・大森信也著／明石書店



今年2月、都内児童養護施設で施設長が退所者に刺殺される事件が起きました。その施設長大森信也の子ども自立支援に向けた想いを知る本です。



早川 悟司さん
児童養護施設 子供の家※ 施設長

※昭和24年から清瀬市で活動を続ける施設



永遠の詩⑤ 石垣りん 小学館 おんなのことば 茨木のり子著／童話屋 新川和江 詩集 角川春樹事務所

平成22年「アイレックまつり」で市民が参加して詩を朗読するという企画をきっかけに、朗読グループ「風の会」が発足しました。そのとき読んだのが石垣りん、茨木のり子、新川和江の3人でした。それぞれに生活に根ざした女性の視点で、素敵な詩を残しています。



3人もたくさんの詩集を出しています。ぜひ読んでみてください。

山我 正明さん
アイレック登録団体「風の会」



意識的に読書時間を持つことで生活の充実感が増したように感じています。